

極東開発工業

適用範囲			モデル名		PY21-51A	PY21-60	PY21-60A	PY110-25	
			吸吐弁形式	—	スイング	スイング	スイング	スイング	
			最大吐出量	m ³ /h	100(70)	100(70)	100(70)	110(75)	
			最大吐出圧力	MPa	5.4(7.8)	5.4(7.8)	5.4(7.8)	4.6(6.6)	
			ブーム最大地上高	m	21.4	29	29	25	
			適用号機	84P000001～94P*****	84P020001～85P*****	85P000001～85P*****	89P010001～95P*****		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値					
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数 ロータ回転数	回/min 回/min	32±2 —	32±2 —	32±2 —	32±2 —	
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) 日野 日産 1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ 三菱 菱2172 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
			回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	38±3 —	26±3 —	26±3 —	38±3 —	
		かくはん装置	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) 日野 日産 1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ 三菱 菱2172 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
			真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	(—)	(—)	(—)	(—)
				圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	(—)	(—)	(—)	(—)
	Vベルトのたわみ	mm		—	—	—	—		
	ブーム装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
			ブーム (2) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
			ブーム (3) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
			ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	0.5 以下	
			ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—	
			(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	
		☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び 縮み	sec sec	60±10 65±10	85±10 60±10	85±10 60±10	85±10 80±10	
ブーム (2) 伸び 縮み			sec sec	85±10 85±10	170±10 185±10	170±10 185±10	100±10 125±10		
ブーム (3) 伸び 縮み			sec sec	50±10 65±10	105±10 120±10	105±10 120±10	105±10 150±10		
ブーム (4) 伸び 縮み			sec sec	— —	— —	— —	60±10 85±10		
ブーム (5) 伸び 縮み			sec sec	— —	— —	— —	— —		
(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)			(min ⁻¹) (℃) [図面No.]	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]		
洗浄装置			水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	20.6±1	20.6±1	20.6±1	20.6±1
				水圧 飛距離	MPa m	5.9 —	5.9 —	5.9 —	5.9 —
				吐出圧力	MPa	—	—	—	—
			空圧機	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) 日野 日産 1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ 三菱 菱2172 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PY115(A)-26(BC)	PY100-26-S	PY100-26-SEM	PY100-21H	PY100-26H	PY115-31	PY115-31A	PY120(A)-33(AB)
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
115(80)	105(73)	105(73)	100(55)	100(55)	115(80)	115(80)	124(90)
4.6(6.6)	4.9(7.0)	4.9(7.0)	6.1(11.8)	6.1(11.8)	4.6(6.6)	4.6(6.6)	4.6(6.6)
25.8	25.8	25.8	20.9	25.8	30.7	30.7	32.6
95P000001～	09P050001～	09P043002～	03P025014～ 03P*****	04P040001～	92P010001～ 95P*****	95P050001～ 97P*****	97P000001～
検査基準値							
32±2 —	23±2 —	23±2 —	30±2 —	30±2 —	32±2 —	32±2 —	32±2 —
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
34±3 —	34±3 —	34±3 —	34±3 —	34±3 —	34±3 —	34±3 —	34±3 —
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下
(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
65±10 75±10	65±10 75±10	65±10 75±10	56±10 49±10	65±10 75±10	105±10 80±10	105±10 80±10	115±15 105±15
75±10	75±10	75±10	54±10	75±10	80±10	80±10	115±15
70±10	70±10	70±10	99±10	70±10	95±10	95±10	115±15
50±10 90±10	50±10 90±10	50±10 90±10	25±10 37±10	50±10 90±10	90±10 115±10	90±10 115±10	110±15 165±15
30±10 40±10	30±10 40±10	30±10 40±10	— —	30±10 40±10	65±10 90±10	65±10 90±10	40±10 65±10
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]
27.5±1 4.9 —	23.5±1 6.6 —	23.5±1 6.6 —	23.5±1 10.5 —	23.5±1 10.5 —	20.6±1 5.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —
—	—	—	—	—	—	—	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)

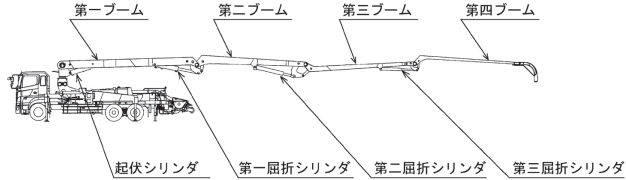
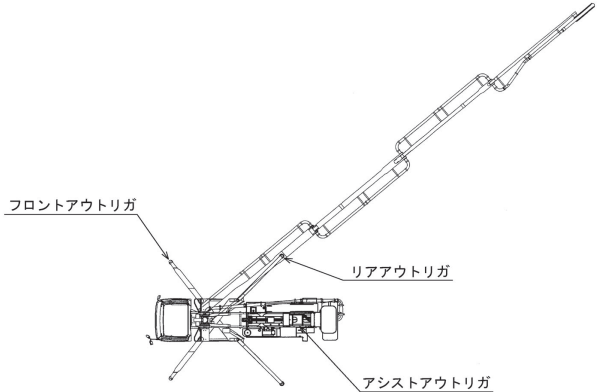
極東開発工業

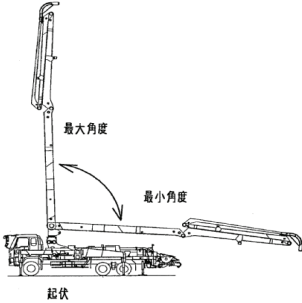
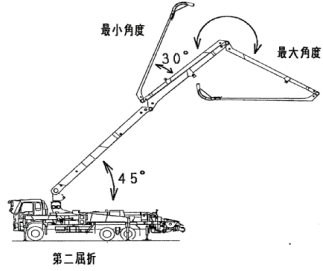
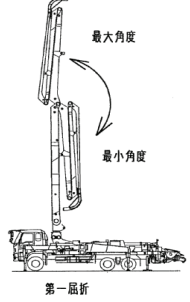
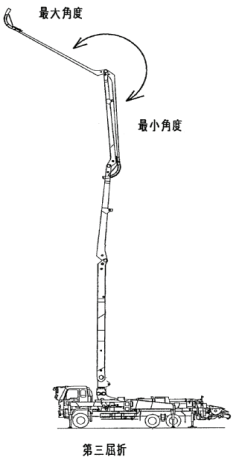
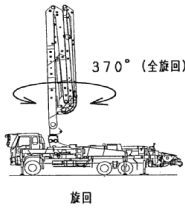
適用範囲		モデル名		PY21-51A	PY21-60	PY21-60A	PY110-25	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	100(70)	100(70)	100(70)	110(75)
			最大吐出圧力	MPa	5.4(7.8)	5.4(7.8)	5.4(7.8)	4.6(6.6)
			アーム最大地上高	m	21.4	29	29	25
適用号機				84P000001～94P*****	84P020001～85P*****	85P000001～85P*****	89P010001～95P*****	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1	
		ブーム油圧	MPa	20.6±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		ACCガス封入圧力	MPa	7.8±1	7.8±1	7.8±1	7.8±1	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) 日野 日産	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1320 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1320 ⁺⁰ ₋₅₀)	1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ三菱 2172 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)				
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの 締付け	外輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	294±9.8	765±9.8	765±9.8	294±9.8	
		内輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	294±9.8	765±9.8	765±9.8	294±9.8	
		取付ボルトの交換基準	年	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	110±10	205±10	205±10	155±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回) (2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	日野 日産	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937)	(1320)	(1320)	1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ三菱 2172 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
	アウトリガ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	
特記事項				1)油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2)標準圧送システムの場合について示す。 3)自動給油は給油されていることを確認すること。 4)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。				
				6)キャブ上側作動防止装置作動確認 7)ポンプ回転数ベアリングでは1800rpm				
				8)PY21-60HLV 共通				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PY115(A)-26(BC)	PY100-26-S	PY100-26-SEM	PY100-21H	PY100-26H	PY115-31	PY115-31A	PY120(A)-33(AB)
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
115(80)	105(73)	105(73)	100(55)	100(55)	115(80)	115(80)	124(90)
4.6(6.6)	4.9(7.0)	4.9(7.0)	6.1(11.8)	6.1(11.8)	4.6(6.6)	4.6(6.6)	4.6(6.6)
25.8	25.8	25.8	20.9	25.8	30.7	30.7	32.6
95P000001～	09P050001～	09P043002～	03P025014～03P*****	04P040001～	92P010001～95P*****	95P050001～97P*****	97P000001～
検査基準値							
27.5±1	29.4±1	29.4±1	29.4±1	29.4±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
27.5±1	13.5±1	13.5±1	29.4±1	29.4±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±0.5	13.7±0.5	13.7±1	13.7±1	13.7±1
27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	28.4±1	28.4±1	28.4±1
—	7.8±1	7.8±1	7.8±1	7.8±1	7.8±1	—	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (ヤシで異なる) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	—	—	—
294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	—	—	—
特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	—	—	—
165±15	165±15	165±15	190±10	165±15	120±10	120±10	185±20
(360・全旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (ヤシで異なる) (50±10)	(360・全旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(370・限定旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(370・限定旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(370・限定旋回) (1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]
1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。 4) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5) 締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。							
6) ACCガス封入圧力14MPa (アーム制振装置搭載車のみ)				6) アーム制振装置ACCガス封入圧力14MPa	6) ACCガス封入圧力13.8MPa (アーム制振装置搭載車のみ)		
					7) PY115-31H LV 共通		

項目	測定方法	計測姿勢
ブームシリンダ 自然降下	アウトリガを最大に張り出し、 ブームをまっすぐに伸ばした 状態で保持する。各ブームシ リンダにダイヤルゲージを取 り付け、10分間の自然降下量 を計測する。 ブーム先端は先端ホースのみ とし、過重は加えない。	図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)
		
アウトリガシリンダ 自然降下	ブームを水平に伸ばし、測定 対象のアウトリガの真上に置 く。アウトリガにダイヤルゲ ージを取り付け、10分間の自 然降下量を計測する。	図-2 アウトリガシリンダ自然降下計測姿勢
		

項目	測定方法	計測姿勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガを最大に張り出し、 各ブームシリンダの全ストロ ークの作動時間をストップウ オッチで計測する。	図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)
	 起伏	 第二屈折
	 第一屈折	 第三屈折
	 旋回	

項目	測定方法	計測姿勢
ブームシリンダ 自然降下	アウトリガを最大に張り出し、ブームをまっすぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は先端ホースのみとし、過重は加えない。	図-4 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)
アウトリガシリンダ 自然降下	ブームを水平に伸ばし、測定対象のアウトリガの真上に置く。アウトリガにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。	図-5 アウトリガシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)

項目	測定方法	計測姿勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガを最大に張り出し、各ブームシリンダの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する。	図-6 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)